

令和3年第2回定例会

北本市予算決算常任委員会
建設経済分科会会議録

令和3年 6月 7日 開 会

北本市議会

予算決算常任委員会建設経済分科会

1. 開会年月日 令和3年6月7日(月) 午前10時56分
2. 出席委員 滝瀬光一会長 湯沢美恵副会長
今関公美委員 諏訪善一良委員
島野和夫委員
3. 欠席委員 黒澤健一委員
4. 説明のため出席した者

大島一秀 市民経済部長

関口智明

市民経済部
副部長兼
くらし安全
課長

平井巖 市民課長

事務局職員出席者

岩崎和彦 主任

開議 午前10時56分

○滝瀬光一会長 それでは、ただいまから予算決算常任委員会建設経済分科会を開会いたします。

議事に入る前に、分科会傍聴についてですが、今般の新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、議会運営委員会の決定により、議員を含め、3人を上限として傍聴を許可することとしますので、御了承願います。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前10時56分

再開 午前10時57分

○滝瀬光一会長 休憩を解いて再開いたします。

本日の日程につきましては、お手元に配付いたしました日程表のとおりでございますので、よろしく願いいたします。

なお、分科会では質疑のみを行い、討論及び採決は予算決算常任委員会全体会で行うこととなっておりますので、御了承願います。

本分科会に送付されました案件は、議案1件です。委員の皆様の慎重なる審査をお願いいたします。

日程第1、議案第41号 令和3年度北本市一般会計補正予算（第5号）のうち、市民経済部関係の審査を行います。

直ちに質疑に入ります。

質疑は歳入歳出一括といたします。

歳入は補正予算書5ページ、歳出は補正予算書6ページ、7ページです。

質疑のある委員の発言を求めます。

質疑ありませんか。

湯沢委員。

○湯沢美恵委員 交通防災業務経費について、まずお聞きしたいと思います。

路線バス運行維持支援給付金ということで210万円が計上されていますけれども、どこに、どれだけの給付をしているのか。そして、この給付に当たって、どういった話合いが進められているのか。現状として、それぞれ給付している路線の状況はどのようになっているのかというあたりについて御説明をしていただきたいと思います。

それと、7ページのほうの防災業務経費の中、備品購入費の非常用具類について1,937万1,000円が計上されていますけれども、議案調査の中では、モーター式の浄水器と手洗い器というような説明をいただいたんですけども、停電した場合などについての対応とかはどのように考えているのかという点についてお聞かせください。

○滝瀬光一会長 関口課長。

○関口智明市民経済部副部長兼くらし安全課長

まず、バスの補助金についてです。

こちら210万円ということで、北本市を主体として運行している7路線に対しまして、1路線当たり30万円の給付をさせていただきたいと考えております。

給付に向けた話合いですけれども、話合いというか、バス会社のほうから、かなり厳しい状況だという要望は何度かいただいているところ

です。それに応じまして、国の地方創生臨時交付金の活用が可能な事業としまして、鉄道、バスなどの地域公共交通の維持確保支援に支出できるということですので、今回、こちらの予算を補助したいということで計上させていただきました。

あと、状況ですけれども、令和元年度、令和2年度を比較しますと、1路線当たり2割から4割減、かなり多くの減となっているのが実情となっております。

あと、次の防災の備品についてです。

こちらモーター式の浄水器が停電になった場合なんですけれども、発電機を用意していますので、発電機を活用して、こちらも稼働することが可能となっております。

○滝瀬光一会長 湯沢委員。

○湯沢美恵委員 各路線のほうでは2割から4割の減少ということの御説明をいただいたんですけども、具体的な数字というのは分かりますでしょうか、その辺りについてお聞かせください。

○滝瀬光一会長 暫時休憩いたします。

休憩 午前11時02分

再開 午前11時02分

○滝瀬光一会長 休憩を解いて再開いたします。

関口くらし安全課長。

○関口智明市民経済部副部長兼くらし安全課長 それでは、利用者数ということですので、すみません、順番に言わせていただきたいと思います。

まず、川越観光のほうですけれども、桶川工業団地・ワコーレ循環線のほうです。こちらにつきましては、利用者が令和元年度が9万9,905人、令和2年度が6万3,239人。続きまして、北里大学メディカルセンター線です。こちらが、令和元年度が44万7,134人、令和2年度が31万4,648人。続きまして、衛生研究所線です。吉見のほうへ行くものです。こちらが、令和元年度4万7,830人、令和2年度が3万2,716人。続きまして、川越観光の北本団地線です。こちら令和元年度が38万4,361人、令和2年度が30万2,829人となっております。おおむね2割から4割減という状況です。

続きまして、丸建つばさ交通のほうになりますけれども、まず東間・深井循環線のほうです。こちらが、令和元年度が6万5,426人、令和2年度が4万1,038人。続きまして、北本駅西口から二ツ家経由北本駅東口線です。こちらが、令和元年度が5万2,052人、令和2年度が3万2,971人。最後に、こちら負担金のない路線ですけれども、二ツ家・グリコ線ですけれども、こちらが6万9,353人、令和元年度です。令和2年度が3万6,409人となっております。

以上です。

○滝瀬光一会長 ほかに質疑ありませんか。

今関委員。

○今関公美委員 今のですけれども、7路線、1路線で一律30万円ということなんですけれども、今のいろいろ利用人数聞いたんですけども、かなり上下があつたり、中には黒字までいくの

か分からないんですけども、あると思うんですが、一律30万円というその根拠、赤字、黒字関係なく一律30万円とした根拠、教えてください。

○滝瀬光一会長 関口くらし安全課長。

○関口智明市民経済部副部長兼くらし安全課長
今回の地方創生臨時交付金についてですけども、赤字補填ですと対象にならないという実情がございます。

北本市の場合ですけども、事業者が2事業者ということがありまして、おっしゃるとおり、多いところ、少ないところあるんですけども、2事業者ということで、1路線当たり単一的に補助したほうが支援金としてはシンプルなつくりになりますので、すみません、そういったことで定額とさせていただきました。

○滝瀬光一会長 今関委員。

○今関公美委員 もちろん、業者もそれを納得し
てのことだと思うんですけども、その辺の話
合いをして納得してというところでよろしいで
すか。

○滝瀬光一会長 関口くらし安全課長。

○関口智明市民経済部副部長兼くらし安全課長
市で出す支援金ですので、業者の納得というか、
そういったことは特になく、市としてできる限
りのことを業者にしていくということで、金額
のほう算定させていただきました。

○滝瀬光一会長 ほかに質疑ありませんか。

島野委員。

○島野和夫委員 今の答弁にありました、今回の

財源として国の地方創生臨時交付金を活用した
ということで、また、赤字補填には対象になら
ないということで、その他に市として、この路
線についてそれぞれ補填をしていると思いま
すが、それとは別に、市が通常どおり補填を
しているのか、確認をさせていただきたいの
と。それぞれの路線についての補助金額とい
うんですか、この辺についてもう一度確認
させていただきたいと思います。

それと、7ページの災害時の関係で、災害
時のバッテリーをそれぞれ避難所にといい
てありますが、広域避難所に設置を、防災倉
庫に設置をするのか、その辺について確認
をさせていただきたいと思います。

市内の広域避難所は幾つだったかね、10か
所以上あるかと思いますが、それぞれ全てに
配置できるのか、その辺について確認をさ
せていただきたいと思います。

また、これは国の交付金も活用するのかわ
からないんですけども、国の地方創生臨時交
付金はそれぞれ限度額というのがあるのか
と思えますけれども、それについてはどうな
んでしょうか。対象となるものは無制限に
国からもらえるのか、北本市にとってト
ータルでどのぐらいこの交付金
が来て、限度があれば残り幾らぐ
らあるのかどうか、それについて分
かれば。

〔「休憩してください」と言う人あり〕

○滝瀬光一会長 以上でいいですか。

○島野和夫委員 以上です。

○滝瀬光一会長 ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前11時09分

再開 午前11時10分

○滝瀬光一会長 休憩を解いて再開いたします。

関口くらし安全課長。

○関口智明市民経済部副部長兼くらし安全課長

まず、バスの補助についてなんですけれども、市として負担している路線3路線ありまして、桶川工業団地・ワコーレ路線と東間・深井循環線、あと北本駅西口から二ツ家経由北本駅東口線、この3路線に対しまして補助金を出しております。

額なんですけれども、桶川工業団地が700万円を上限としまして、その他2路線は600万円を上限としております。今回の補助金につきましては、その負担金の外側に負担するものとさせていただいております。ですから、その他の補助金については、通常どおり補助させていただくという予定になっております。

防災のほうのバッテリーなんですけれども、こちら避難所14か所ございまして、2個ずつ14か所に、防災倉庫に配備しまして、非常時にスマホとかを充電してもらって、情報収集にあたるための非常用電源とさせていただきたいと考えております。

○滝瀬光一会長 ほかに質疑ありませんか。

諏訪委員。

○諏訪善一良委員 さっき7路線の利用実態で、2割から4割減ったということなんですけれども、これはいつからいつまでといつからいつまでの間で2割から4割減ったんでしょうか、お

伺いいたします。

○滝瀬光一会長 関口くらし安全課長。

○関口智明市民経済部副部長兼くらし安全課長

すみません。年間の利用者を今、参考に出させていただきました。令和元年度の年間利用者と令和2年度の年間利用者の比較を今回させていただいております。

○滝瀬光一会長 諏訪委員。

○諏訪善一良委員 そうすると、令和元年度と令

和2年度、今回のコロナ関係の影響というのは、何かつかんではないんですか。昨年と今年じゃ、相当コロナで変わってきたということなんですけれども、それはつかんでいなくて、これは各路線30万円ということなんですか。

○滝瀬光一会長 関口くらし安全課長。

○関口智明市民経済部副部長兼くらし安全課長

令和元年度が、コロナがまだ発生する前、コロナの影響を受けたのが3月、すみません、実は1か月かぶってしまっているところがあるんですけれども、3月からの影響ですので、1年間トータルで、あまり影響がなかったものとして令和元年度を参考にさせていただいております。令和2年度は、もう4月から3月末まで1年間、コロナの影響でテレワークとか、そういったものの影響でかなり利用者は減っているということがありますので、令和元年度と令和2年度を比較して、影響が令和2年度のほうがあったということで、積算させていただきました。

○滝瀬光一会長 諏訪委員。

○諏訪善一良委員 今の7路線、それから3路線

横付けに出ているというんですけれども、金額が700万円、600万円の違いというのは、それは乗客数その他を基準に出しているのでしょうか。分かれば御回答願います。

○滝瀬光一会長 毎年度出しているやつですよ、諏訪委員。ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前11時13分

再開 午前11時15分

○滝瀬光一会長 休憩を解いて再開いたします。

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○滝瀬光一会長 質疑がないようですので、議案第41号 令和3年度北本市一般会計補正予算（第5号）のうち、市民経済部関係の質疑を最終いたします。

以上で、本分科会に送付されました議案1件の審査が終了いたしました。

なお、分科会審査結果報告の作成については、正副会長に御一任いただき、案を作成後、皆様に配付をし御意見を伺いたいと考えますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○滝瀬光一会長 それでは、そのようにさせていただきます。

それでは、副会長、閉会をお願いいたします。

○湯沢美恵副会長 以上で、予算決算常任委員会建設経済分科会を終了いたします。

○滝瀬光一会長 お疲れさまでした。

閉会 午前11時16分